

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月3日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング

上場取引所 東

コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	7,941	11.5	2,215	38.8	2,219	31.1	1,280	32.2
21年3月期第1四半期	7,121	—	1,596	—	1,692	—	968	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	69.41	—
21年3月期第1四半期	52.52	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	53,967	36,244	66.6	1,948.00
21年3月期	54,712	35,371	64.1	1,900.93

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 35,933百万円 21年3月期 35,065百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	35.00	—	30.00	65.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	14,285	0.1	3,533	5.3	3,580	2.7	2,119	10.0	114.91
連結累計期間	31,819	10.1	7,838	5.9	7,953	4.7	4,703	8.9	254.97
通期									

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 22,720,000株 21年3月期 22,720,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 4,273,724株 21年3月期 4,273,724株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 18,446,276株 21年3月期第1四半期 18,446,372株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融危機が実体経済にまで影響し、企業収益の急速な悪化を受けて設備投資の減少や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷を招くなど、厳しい状況で推移しました。

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界におきましては、金融面では依然として融資の受け難い厳しい状況が続く中、パチンコホールの経営方針により優劣が一層明確になってきました。昨今の遊技ファンの減少に歯止めをかけ、回帰を図るために始められた低貸玉営業は、通常よりも少額で遊技できることが多くの遊技ファンに支持され、全国各地のパチンコホールへ急速に広がりました。また、遊技ファンに支持されている大型タイトルの遊技機の発売が続き、遊技機の入替に伴うパチンコホールの改装が活発化しました。

このような状況の中、開発型企業グループである当社グループは開発・製造・販売・アフターサービスに至るまで一貫体制をとり、柔軟でスピーディーな活動を展開してまいりました。また、顧客への直接販売を積極的に行い、顧客ニーズをいち早く取り入れた製品の企画及び開発に努めてまいりました。

玉積み・玉運びが不要の「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」に代表される当社のシステムは、競合他社とは差別化された独自のものであり、パーソナルを中心に景品管理システムや島補給システムなどトータルシステムでの提供ができることを強みとして、販売に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高79億41百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益22億15百万円（同38.8%増）、経常利益22億19百万円（同31.1%増）、四半期純利益12億80百万円（同32.2%増）となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

#### [アミューズメント関連事業部門]

##### （プリペイドカードシステム）

プリペイドカードシステムであるサイクルカードシステムは、遊技機ごとに計数機を備え付けたパーソナルを主軸システムとして拡販に努めました。パーソナルは、最上位モデルの「パーソナルⅠ」、コストパフォーマンスに優れた「パーソナルⅡ」及び「パーソナルⅢ」を販売し、3種類のパーソナルで顧客ニーズに合ったきめ細かい提案販売を行ってまいりました。

パーソナルは席に座ったまま玉を計数できるため、遊技ファンにおいては利便性や質の高いサービスを享受することができ、ホール従業員においては、業務の大半を占める重い玉運び業務から開放されます。ホールの経営者においては、優秀な人員の確保やコストの低減、有効な通路の確保など、効率的で安全なホール運営をサポートするシステムであります。

玉積み演出が主流となっているパチンコ業界において、玉積み不要のパーソナルが大手パチンコホールチェーンを中心に全国有数のパチンコホールで採用され、業界標準化に向け、導入店舗数は増加しました。

この結果、パーソナルの売上実績は65店舗、発売以来の累計導入（実稼動）店舗数は当四半期末時点で372店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は91店舗、導入（実稼動）店舗数は累計1,968店舗（市場シェア19.3%）となり、当システムの個別売上高は40億72百万円となりました。

##### （景品管理システム）

「景品管理のマース」としてのブランドと高いシェアを誇る景品管理システムは、パーソナルと連動することで、遊技ファンの利便性やセキュリティが向上するため、パーソナルを導入するパチンコホールを中心に提案販売を行ってまいりました。

この結果、当システムの個別売上高は8億97百万円となりました。

##### （RFID）

RFID市場の新規開拓を目指し、アミューズメント施設向けの認証システムやセキュリティ機器向け認証基板等の販売を行ってまいりました。また、従来より進めております健診センター向けシステム販売が順調に推移し、全国的に導入実績を重ね、今後の大きな商材として期待しております。

この結果、RFIDの個別売上高は1億67百万円となりました。引き続き、展示会等への出展を契機とし、更なる拡販に向けて営業活動を積極的に進めてまいります。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業部門の個別売上高は78億6百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

#### [その他事業部門]

その他事業部門におきましては、ホテル事業を行っており、立地や質の高いサービスが宿泊客から高い評価を得てリピートする宿泊客が増加しました。

この結果、その他事業部門の個別売上高は1億35百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は539億67百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億45百万円減少いたしました。

流動資産は372億52百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億76百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、現金及び預金が6億85百万円減少し116億47百万円となりました。

固定資産は167億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して68百万円減少いたしました。その主な要因は有形固定資産の減価償却費によるものであります。

流動負債は122億45百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億50百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が19億94百万円減少し4億61百万円となりました。

純資産は362億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億72百万円増加いたしました。

自己資本比率は66.6%となり、前連結会計年度末と比較して2.5ポイント増加いたしました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は145億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億15百万円の増加となりました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は7億97百万円の収入（前年同期比45.7%減）となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益22億28百万円、売上債権の減少額5億28百万円等であり、主な減少要因は、法人税等の支払額26億45百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は47百万円の支出（前年同期は1億3百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出13百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は4億33百万円の支出（前年同期は4億54百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払額4億25百万円等によるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における連結業績は、堅調に推移しており、平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成21年5月14日に公表いたしましたとおり、変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を実施せず、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算出する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,647,809	12,333,501
受取手形及び売掛金	10,308,532	10,837,099
リース投資資産	4,787,435	4,707,231
有価証券	3,383,477	2,381,642
商品及び製品	2,146,735	2,469,106
仕掛品	132,400	19,286
原材料及び貯蔵品	1,982,018	1,784,286
その他	3,006,195	3,544,246
貸倒引当金	△142,089	△147,571
流動資産合計	37,252,513	37,928,828
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,141,572	5,141,572
その他(純額)	4,863,387	4,936,311
有形固定資産合計	10,004,960	10,077,883
無形固定資産		
その他	124,926	125,826
無形固定資産合計	124,926	125,826
投資その他の資産		
その他	6,923,757	6,923,928
貸倒引当金	△338,438	△343,570
投資その他の資産合計	6,585,318	6,580,357
固定資産合計	16,715,205	16,784,067
資産合計	53,967,719	54,712,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,812,027	2,797,141
リース債務	2,186,303	2,131,110
未払法人税等	461,645	2,456,444
賞与引当金	211,233	412,678
その他	6,574,453	6,098,927
流動負債合計	12,245,663	13,896,301
固定負債		
リース債務	3,619,306	3,622,555
退職給付引当金	32,563	31,321
役員退職慰労引当金	624,614	615,806
負ののれん	36,443	40,493
その他	1,164,988	1,134,888
固定負債合計	5,477,916	5,445,064
負債合計	17,723,579	19,341,366

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	29,216,178	28,396,914
自己株式	△9,261,346	△9,261,346
株主資本合計	36,260,762	35,441,498
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△333,932	△382,795
繰延ヘッジ損益	6,607	6,356
評価・換算差額等合計	△327,325	△376,439
少数株主持分	310,702	306,470
純資産合計	36,244,139	35,371,529
負債純資産合計	53,967,719	54,712,896

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	7,121,252	7,941,631
売上原価	3,670,959	3,881,291
売上総利益	3,450,293	4,060,339
販売費及び一般管理費	1,853,933	1,844,617
営業利益	1,596,360	2,215,722
営業外収益		
受取利息	6,811	3,993
受取配当金	20,933	41,723
負ののれん償却額	4,045	3,968
持分法による投資利益	53,772	—
その他	12,306	12,075
営業外収益合計	97,870	61,761
営業外費用		
支払利息	227	—
持分法による投資損失	—	57,671
その他	1,041	—
営業外費用合計	1,268	57,671
経常利益	1,692,962	2,219,812
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	10,598
特別利益合計	—	10,598
特別損失		
固定資産除却損	367	2,058
たな卸資産評価損	101,338	—
特別損失合計	101,705	2,058
税金等調整前四半期純利益	1,591,257	2,228,352
法人税、住民税及び事業税	553,351	672,773
法人税等調整額	58,861	262,806
法人税等合計	612,212	935,580
少数株主利益	10,246	12,351
四半期純利益	968,798	1,280,420

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,591,257	2,228,352
減価償却費	136,394	93,326
負ののれん償却額	△4,045	△3,968
引当金の増減額 (△は減少)	△109,040	△202,009
受取利息及び受取配当金	△27,745	△45,717
支払利息	227	—
持分法による投資損益 (△は益)	△53,772	57,671
固定資産除却損	367	2,058
売上債権の増減額 (△は増加)	390,721	528,566
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△174,755	263,351
リース投資資産の増減額 (△は増加)	—	△76,827
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△54,286	11,524
仕入債務の増減額 (△は減少)	131,798	14,886
リース債務の増減額 (△は減少)	—	51,944
前受金の増減額 (△は減少)	424,702	133,045
その他	215,216	338,479
小計	2,467,038	3,394,684
利息及び配当金の受取額	28,395	47,695
利息の支払額	△403	—
法人税等の支払額	△1,025,661	△2,645,147
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,469,369	797,232
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△63,252	△13,839
投資有価証券の取得による支出	△13,977	△6,332
その他	△26,743	△27,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,973	△47,888
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△46,500	—
自己株式の取得による支出	△159	—
配当金の支払額	△403,577	△425,867
少数株主への配当金の支払額	△4,000	△8,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△454,236	△433,867
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	911,158	315,477
現金及び現金同等物の期首残高	10,024,171	14,264,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,935,329	14,579,956



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、アミューズメント関連事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間については、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」 四半期個別財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,108,390	6,531,739
受取手形及び売掛金	4,138,229	4,700,366
有価証券	3,121,475	2,119,602
商品及び製品	2,096,768	2,423,063
仕掛品	82,420	18,102
原材料及び貯蔵品	1,111,500	894,225
その他	1,109,280	1,317,609
貸倒引当金	△7,450	△8,406
流動資産合計	18,760,614	17,996,303
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,855,750	1,855,750
その他(純額)	2,104,926	2,148,965
有形固定資産合計	3,960,677	4,004,716
無形固定資産		
その他	53,412	57,555
無形固定資産合計	53,412	57,555
投資その他の資産		
投資有価証券	3,430,172	3,318,114
子会社及び関係会社株式	6,143,624	6,143,624
その他	2,043,477	2,254,188
貸倒引当金	△124,531	△128,427
投資その他の資産合計	11,492,742	11,587,500
固定資産合計	15,506,832	15,649,772
資産合計	34,267,446	33,646,075

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,676,358	2,604,038
未払法人税等	181,915	1,160,544
賞与引当金	167,580	329,022
その他	588,820	437,874
流動負債合計	3,614,674	4,531,478
固定負債		
役員退職慰労引当金	624,614	615,806
その他	10,140	10,540
固定負債合計	634,754	626,346
負債合計	4,249,429	5,157,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	23,158,901	21,694,037
自己株式	△9,261,346	△9,261,346
株主資本合計	30,203,485	28,738,621
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△185,467	△250,370
評価・換算差額等合計	△185,467	△250,370
純資産合計	30,018,017	28,488,250
負債純資産合計	34,267,446	33,646,075

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業損益の部		
売上高	5,217,043	6,471,819
売上原価	2,806,999	3,579,299
売上総利益	2,410,043	2,892,519
販売費及び一般管理費	1,580,165	1,605,729
営業利益	829,878	1,286,790
営業外損益の部		
営業外収益		
受取利息	9,761	8,318
受取配当金	1,167,123	1,165,265
その他	11,178	10,027
営業外収益合計	1,188,062	1,183,611
営業外費用		
その他	250	-
営業外費用合計	250	-
経常利益	2,017,691	2,470,401
特別損益の部		
特別利益		
ゴルフ会員権引当金戻入益	-	1,700
貸倒引当金戻入益	9,288	3,137
特別利益合計	9,288	4,837
特別損失		
固定資産除却損	228	720
たな卸資産評価損	101,338	-
特別損失合計	101,567	720
税引前四半期純利益	1,925,412	2,474,518
法人税、住民税及び事業税	274,807	397,498
法人税等調整額	48,936	150,998
法人税等合計	323,743	548,497
四半期純利益	1,601,669	1,926,020

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。